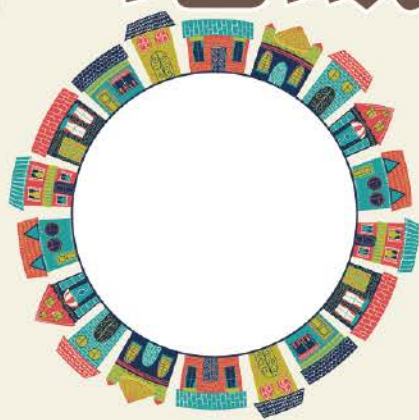


新しい生活様式に対応した 政治・地域活動



もくじ

はじめに.....	3
第1章 民主主義とは.....	5
第2章 労働運動の政治の必要性.....	7
第3章 行政を動かすには.....	10
第4章 議員を擁立するために.....	11
第5章 支持者拡大の5つの取り組み.....	12
第6章 取り組みへの昨今の弊害.....	13
第7章 SNSのメリット・デメリット.....	14
第8章 投票の仕方.....	17
第9章 新型コロナウイルス感染防止に対応した活動.....	18
第10章 議員候補者に対して.....	19
第11章 定着活動.....	20
第12章 政治・地域活動を通して.....	21

はじめに

イギリスの雑誌「エコノミスト」の民主主義指数調査が発表されました。日本は完全民主主義の国のゾーンに入りましたが、順位は 17 位となりました。完全民主主義の国のなかでは低位となった要因のひとつが国民の政治参加です。

投票率からも政治・選挙への関心は薄れ、興味を持たなくなっている状況があります。

政治参加の低調な状況があるのは世間一般だけでなく、労働組合でも政治参加に対する意識が低下している状況があります。それは新型コロナウイルスの影響もあり、職場活動が難しくなっている現状から、普段の周知活動が満足に行えない部分もあるかと思えます。

今までの活動がそのままできない以上、新たな手段として SNS の活用も必要になってきました。しかし、SNS は特徴をつかんで活用しないと、想定された効果を生まず、労力のみ費やす形となってしまいます。

本書をご活用いただき、新しい生活様式に対応した政治活動・地域活動の充実にお役立ていただければと思います。

真の日本の民主主義を目指し、労働組合・家庭・地域で活性化の一助になれば幸いです。

民主主義とは（「エコノミスト」における調査順位の基準）

- ① 選挙プロセスの正当性と参加の多様性
- ② 政府の機能と評価
- ③ 国民の政治参加の程度
- ④ 政治文化の民主的な多様性
- ⑤ 市民的自由の程度

●民主主義指数 エコノミスト 2021年発表

順位	国・地域	政治体制	スコア	①選挙過程と多元性	②政府機能	③政治参加	④政治文化	⑤人権擁護
1	ノルウェー	完全な民主主義	9.75	10.00	9.64	10.00	10.00	9.12
2	ニュージーランド	完全な民主主義	9.37	10.00	9.29	8.89	8.75	9.71
3	フィンランド	完全な民主主義	9.27	10.00	9.29	8.89	8.75	9.41
4	スウェーデン	完全な民主主義	9.26	9.58	9.29	8.33	10.00	9.14
5	アイスランド	完全な民主主義	9.18	10.00	8.21	8.89	9.38	9.41
6	デンマーク	完全な民主主義	9.09	10.00	8.93	8.33	9.38	8.82
7	アイルランド	完全な民主主義	9.00	10.00	7.86	8.33	9.38	8.82
8	台湾	完全な民主主義	8.99	10.00	9.64	7.78	8.13	9.41
9	オーストラリア	完全な民主主義	8.90	10.00	8.57	7.78	8.75	9.41
	スイス	完全な民主主義	8.90	9.58	8.93	7.78	9.38	8.82
16	韓国	完全な民主主義	8.16	9.58	8.57	7.22	7.50	7.94
17	日本	完全な民主主義	8.15	9.17	8.57	6.67	8.13	8.24
18	イギリス	完全な民主主義	8.10	9.58	7.50	8.33	6.25	8.82
22	フランス	欠陥のある民主主義	7.99	9.58	7.50	7.78	6.88	8.24
26	アメリカ	欠陥のある民主主義	7.85	9.17	6.43	8.89	6.25	8.53
86	ウクライナ	混合政治体制	5.57	8.25	2.36	6.67	5.00	5.59
114	カタール	独裁政治体制	3.65	1.50	4.29	3.33	5.63	3.53
124	ロシア	独裁政治体制	3.24	1.75	2.14	4.44	3.75	4.12
165	北朝鮮	独裁政治体制	1.08	0.00	2.50	1.67	1.25	0.00
166	ミャンマー	独裁政治体制	1.02	0.00	0.00	1.67	3.13	0.29
167	アフガニスタン	独裁政治体制	0.32	0.00	0.07	0.00	1.25	0.29

〔4〕政治による事業推進弊害の時代

行政によっては、さまざまな理由で条例として制限を設ける事例が増えてきています。内容によっては私たちの仕事に関する分野まで広がっています。

こんな条例があります。

①京都府京都市

建築基準条例 景観を守るため建築物の高さなど制限（場所により 10m以内）

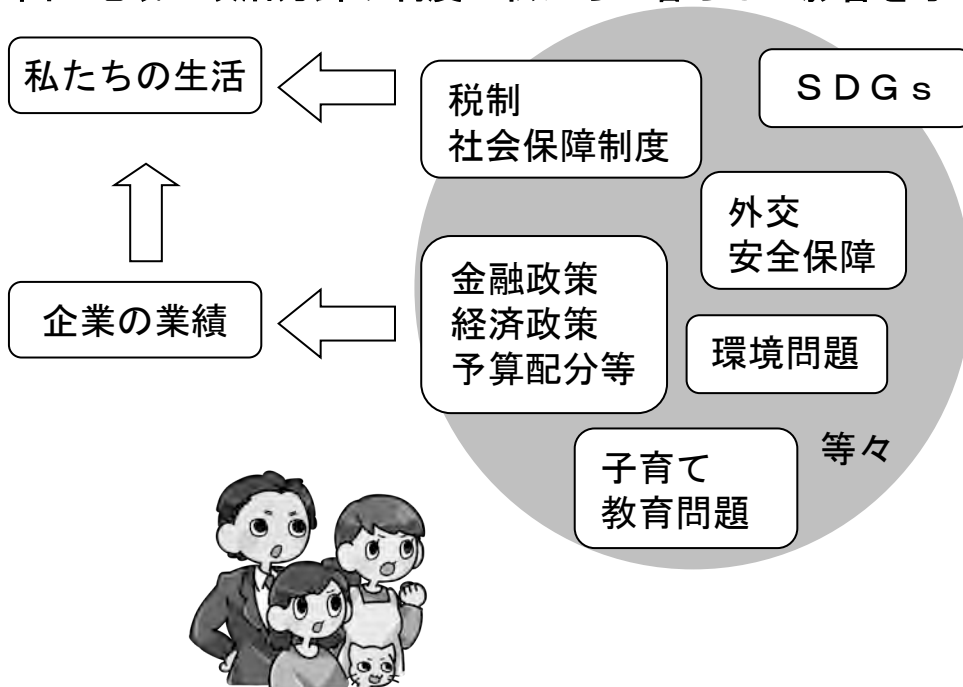
②岡山県美星町

光害防止条例 夜間の人工光を制限

③東京都

環境基準 騒音・悪臭・振動に関する制限

国・地域の政治方針や制度が私たちの暮らしに影響を与えます。



第3章 行政を動かすには

〔1〕地域での連帯づくり

地域懇の必要性

組合員の悩みや課題を解決するために行政とただ話をするだけではできません。行政から見ると、地域全体の考えを聞かねばなりません。そこで、労働組合と地域が連携し、意見を集約して、まとめて活動していく場が求められます。

〔2〕陳情と請願

組合員から集めた相談を解決するためには労働組合だけの力では難しい部分もあります。内容によっては地方自治体等への対応も出てきます。地方自治体の条例や予算は地方議会で話し合われます。地方議会に対して私たちの希望や意見を言う手段として陳情と請願があります。

①陳情

国会、官公庁、地方議会等に対して実情を述べ、適当な措置を要望することで、議員の紹介のないものです。陳情の多くは委員会での報告に留まります。

②請願

請願は憲法（第16条）で保障された国民の権利であり、国民が国会、官公庁、地方議会等に対して、損害の救済、公務員の罷免、法律や条例の制定・改廃その他の事項に関し、希望や意見を言う行為で、議員の紹介が必要です。請願は、議会の審議・採決まで論議が深まります。したがって、陳情より政策の実現性が高まるのは請願です。

〔3〕だから議員が必要

私たちの身近な暮らしに直接かかわる議論の場が地方議会です。そこに私たちの意見を直接届け、解決していくためには私たちの考えを理解し、共に行動してくれる議員が必要なのです。

組合相談事例 ある組合の課題（集約結果：企業内61件、企業外17件 合計78件）

- ① 工場前の渋滞がひどい
- ② 通学路の道がデコボコしている
- ③ コロナ関係の補助金を知りたい
- ④ 暗いので街灯をつくってほしい
- ⑤ 工場前の交差点、ガードレールやミラーを付けてほしい

第8章 投票の仕方

〔1〕期日前投票

期日前投票は、選挙期日前であっても、選挙期日と同じく投票を行うことができるしくみです。ただし、投票所は限定されるので、選挙管理委員会に確認しましょう。

期日前投票所は近年、駅前やスーパー等にも設置されています。有権者の利便性や投票所の環境をクリアすれば、投票所に指定されることが可能ですので、公民権行使の効果として、投票所の誘致を労使で考えてはいかがでしょうか。

〔2〕不在者投票

不在者投票制度とは、選挙日に投票所に行けない方のための制度の1つです。仕事や旅行で住所地（名簿登録地）以外に滞在中の場合や、病院に入院されている方などが選挙に参加できるようにするためのものです。

① 入院している場合

施設の長（不在者投票管理者）を通して投票用紙を市区町村に請求できます。施設の長（不在者投票管理者）の管理のもとで投票できます。

② 海外勤務者

出国前に在外選挙人名簿へ登録しましょう（出国後は在外公館で）。登録することで、海外で国政選挙に投票することが可能です。

③ 国内不在者投票

「不在者投票請求書兼宣誓書」を住所地の選挙管理委員会に提出します。滞在地に投票用紙等が送られてくるので、その手順にしたがって滞在地で投票できます。

以上のように、日本においては投票の権利が保障されています。したがって、上記以外のケースが発生した場合でも選挙管理委員会に相談してみてください。

第9章 新型コロナウイルス感染防止に対応した活動

感染防止対応については地域によって違うため一概にはいえませんが、一つの方法として記載します。

〔1〕 街宣活動において、マスクはどうするか

マスクを着けることが一般的となっています。しかし、マスクを着けることで、議員・候補者本人を覚えてもらえない、発声がしづらい等の影響もあります。

したがって、

- ① 有権者と距離がある場合はエアマスク等の感染防止器具を使用し、マスクを着脱しましょう。
- ② 広報ビラにマスクをはずした顔写真を記載して、本人を覚えてもらいましょう。

〔2〕 握手はどうするか

街頭演説などでは議員・候補者とのふれあいの中で重要な活動となります。握手にこだわらず、フィスト・バンプ（グータッチ・少し距離を開けたハイタッチポーズ）で対応しましょう。

〔3〕 広報ビラ配布

議員・候補者本人の政策やプロフィールを知ってもらうためにはビラの配布が重要です。三つ折り等で端を取りやすくして配布をする等の工夫をしましょう。

〔4〕 街宣カーにおいて

乗車する車上運動員を少数にする。または録音テープの活用などの対応をとることも視野に入れましょう。

〔5〕 演説会では

演説会は議員・候補者の政策をアピールする重要な機会です。演壇と有権者の距離を置いたレイアウトにしましょう。議員・候補者は感染防止器具の設置等をして、マスクは着脱しましょう。人数制限をして、開催していきましょう。

